

2008年4月3日

2007年度ポーラ・オルビスグループCSR賞 決定

株式会社ポーラ・オルビスホールディングス（本社：東京都品川区 社長：鈴木郷史）は、「良き企業市民として、社会に対して責任を果たし、貢献していく」ことを目指し、さまざまなCSR活動を行っています。

CSR活動をポーラ・オルビスホールディングスのグループ内に広めることを目的として、新たな表彰制度「ポーラ・オルビスグループCSR賞」を創設。第1回目の受賞式を3月19日に執り行いました。

グループCSR賞は、日頃のCSR活動において積極的に取り組んでいる団体（部門、チーム、グループ）または個人の努力に敬意を表し、その活動の発展を支援するものです。

【社長賞】

《オルビス（株）CSR委員会・環境チーム》
オルビス（株）は販促活動用に多くの紙媒体を配布しているため、環境への配慮を考え2002年より植林活動を実施しています。昨年はグループ会社の従業員も加わり130人の社員が参加する植林活動へと発展しました。従業員自らの植林活動を通じて、環境負荷の低減に継続的に取り組んでいます。

<活動場所>

2002年から（財）オイスカ※と協力して、フイジー、山梨県甲府市、富士山にて植林活動を実施しています。

※オイスカとは、地球の環境保全を考えながら、「人材育成」「農業開発協力」「普及啓発」を進めているNGO団体です。



富士山をバックに。奥が植林地。



植林をしている社員。

【本件に関する問い合わせ先】

㈱ポーラ・オルビスホールディングス 広報担当 山田(maiko-yamada@pola.co.jp)、中山
〒141-8523 東京都品川区西五反田2-2-3 TEL : 03-3494-7123 FAX : 03-3494-7640